

2023 年度

学修成果及び学修行動、環境に関する調査（2023 年度在学学生）

アンケート調査報告

川崎医療福祉大学

FD・SD 委員会

本学の学生の学修前後の学修成果を把握し、本学の3つのポリシーを検証する材料とすることを目的として、2022 年度より毎年実施する記名式調査として「学修成果および学修行動、環境に関する調査」を開始した。

昨年度と経年比較が必要な質問については、質問内容を昨年同様としたが、学修環境に関する質問については、学生のニーズをより細かく把握するため項目の見直しを行った。また、ICT 環境に関しては、別途より詳細な調査が行われる予定であることを鑑み、本調査からは削減し、回答者である学生の負荷軽減を図った。

データの集計と基礎的分析については、調査企画室 IR 担当で行った。

1. 実施方法

1-1 実施対象と方法

2023 年度の在学している学部生（以下、在学学生）は合計 3,906 名であった。

メールにて回答依頼を学生に対して行い、回答は Webclass を使用して、オンラインにて実施した。質問項目および簡易集計結果は巻末の資料 1 の通りである。

1-2 実施日

提出期限：2023 年 7 月 27 日（木）～8 月 20 日（日）

2. 実施結果

2-1 回収率

アンケートの回収率（回収数／配付数）は 48.0%（2022 年度：39.6%）であった。回答者の実数と学年構成は以下の通り。昨年度と比較してすべての学年で回収率が向上した。

学年	2022年度調査	2023年度調査	対前年度比
1年生	558	599	107%
2年生	432	481	111%
3年生	336	369	110%
4年生	318	426	134%
合計	1644	1875	114%

2-2 学生の主観評価によるアドミッション・ポリシーの検証（質問 1）

アドミッション・ポリシーについて、入学時においては、本学への入学選抜に臨むにあたっての人物像を、入学後については、本学での学びに対する基本姿勢として持つ必要があるものであり、いずれの設問においてレベル 4 もしくは 5 であることが望まれる項目である。実際の回答もレベル 4 と 5 での回答を占めているが、ごく少数の学生は低いレベルで回答している。アドミッション・ポリシーに関する設問に全てレベル 1 で回答した学生が昨年は 3 名存在したが、今年度は存在しなかった。しかしながら各項目単位ではレベル 1 を選択した学生が数名存在しており、医療福祉人としての将来への不安や就学意欲の低下が懸念された。

アドミッション・ポリシーのうち、「他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人」については、昨年と同様、レベルを 4 と回答した学生が最も多くなっており、他のアドミッション・ポリシーと回答分布が異なった。回答の分布もほぼ昨年と同様となっており、他者とのコミュニケーション、協業に不安を持っている学生が存在することが示唆された。アクティブラーニング科目やチーム医療に関する科目、プレゼンテーションに関する科目など、コミュニケーション能力およびチーム医療に関する科目の増強の必要性が示唆された。

学年別の傾向を別表 1 に示す。学年による傾向の差は見受けられない。

2-3 学生の主観評価によるカリキュラム・ポリシーの検証（質問 2、3、5）

自分の所属学科のカリキュラム（科目や科目の配置、科目の量）への満足度を確認したところ、満足が 38%、やや満足が 43%と合せて 81%であり、昨年度と同様、概ね満足している状況が確認された。カリキュラムへの要望事項は、昨年度と同様、資格対策の充実と、ボランティア活動などの正課外活動への単位認定への要望が多く見受けられた。

科目の配置については、1 週間当たり 21～30 時間（1 日当たり概ね 3～4 コマ）の授業がある学生が 39%と最も多くなっており、これは令和 4 年度に文部科学省が実施した「全国学生調査」※2 において、2 年生の最多回答であった「1 週間当たり 16～20 時間（毎日概ね 2.3～2.9 時間未満を自己学修に充てている）」と比較すると、全国の大学平均よりも多くの科目が配置されていることが示唆された。

2-4 学生の主観評価によるディプロマ・ポリシーの検証（質問 4、5、6、7、8）

授業に対して臨む態度を問うた質問 4 では、昨年は複数選択式で調査を行ったが、作問ミスにより、単一選択式となっていた。単純な比較は難しいが、授業に対する取り組み態度で一番意識していることと読み替えて分析を行った。最も高かった項目が「4. 出された課題やレポートを、良いものに仕上げようと努力している」26%であった。次に「2. 興味がわくかどうかにかかわらず、集中して受講している」23%、「1.

受講の際に、前もってシラバスを確認している」16%と続いており、この順位は昨年度と同様の結果となった。一方、「5. 予習をしたうえで毎回の授業に臨んでいる」が1%となっており、学生の学修姿勢が受け身になっている傾向が見受けられた。後述の質問6と同様、課題とすべきであろう。

質問6では授業以外での自己学修時間を問うた質問であるが、時間数としては最も少ない選択肢である1週間当たり1～5時間の学生が34%（昨年度34%）と最多となった。本学の「2021年度学生生活実態調査※1」においても同様の傾向であり、改善しているとは言い難い状況である。「全国学生調査」※2も同様に1週間当たり1～5時間の学生が55.9%と最も多くを占めており、他大学においても同様の課題が存在するものと考えられる。

質問7の自身が自由に使用することができる時間を確認する限りは、自己学修時間の確保は可能と考えられ、単位制度の実質化を図る上でも学生の自己学修時間増加に向けて更なる大学内学修環境の整備や、予習・復習教材の指示、提供等の改善に向けた施策が必要である。

質問8では、ディプロマ・ポリシーに定められた養成人材像に対する現時点での自身の達成状況について5段階で自己評価させた。全てのディプロマ・ポリシーについて、レベル4と回答した学生が最も多い状況ではあるが、元来ディプロマ・ポリシーは卒業時に充足を目指すものであり、正しい傾向といえる。

学年別の傾向を別表1に示すが、学年による傾向の差は見受けられない。しかし、前述のディプロマ・ポリシーの性質から考えると、3・4年生でレベル4と5が増えることが望ましく、到達目標を明示することによって成長実感を持たせるなど、学生の主体性向上に向けた取り組みの必要性が示唆された。2023年度より稼働した学修ポートフォリオシステムおよびディプロマ・サプリメントの交付に期待が寄せられる。

2-5 学生からの環境整備への要望事項（質問9、10、11）

質問9では、学生が自習する場所を確認した。自宅での自己学修を中心としながらも、大学図書館や各階ラウンジなどの大学内施設の利用が多く見受けられた。

その傾向から、質問10および11の自由記述形式での施設整備の要望では、2022年度に資格対策演習室の拡充などを行ったにもかかわらず、静かに自修できるスペースの更なる充実を望む声が多数となった。また、福利厚生施設としての学生ラウンジの充実、カフェスペースの設置が昨年同様、根強い要望として挙げられている。その他、2022年度に充電スポットの整備を行ったが、さらなる拡充が要望として寄せられた。昨年度の調査で自由記述部分での要望が多く、新規項目として設けたWi-Fi環境の充実については、多くの要望が寄せられた。

自由記述の記載では空調に関する要望が多く見受けられ、多くの学生が不満を持っていることが分かる。4Fラウンジの空調の改善や、個々の教室の室温調整が十分ではない

アドミッションポリシー

ポリシー	レベル※	1年生	2年生	3年生	4年生	総計
AP1.医療や福祉の分野で活躍するために、その知識と技術を修得する意欲のある人	1	1	1	2	2	6
	2	9	8	11	10	38
	3	72	87	58	55	272
	4	175	169	147	152	643
	5	342	216	151	207	916
AP2.病気や障がいのある人の気持ちを理解するとともに、その苦悩に共感できる人	1	1		2	1	4
	2	2	4	3	3	12
	3	50	75	55	41	221
	4	200	177	159	154	690
	5	346	225	150	227	948
AP3.社会人としての良識や倫理観を身につけ、社会に貢献したいと願っている人	1		2	1	1	4
	2	6	13	6	4	29
	3	58	74	52	44	228
	4	177	146	145	132	600
	5	358	246	165	245	1014
AP4.他者の言葉に耳を傾け、適切に説明できるというコミュニケーション能力を持つために努力する人	1		1		1	2
	2	4	4	7	5	20
	3	59	83	64	45	251
	4	193	156	146	141	636
	5	343	237	152	234	966
AP5.他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人	1	2	1	2	3	8
	2	24	23	12	11	70
	3	127	111	87	80	405
	4	232	170	155	158	715
	5	214	176	113	174	677

ディプロマポリシー

ポリシー	レベル※	1年生	2年生	3年生	4年生	総計
DP1.幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。	1	6	3	5	7	21
	2	43	33	19	27	122
	3	211	157	118	114	600
	4	233	186	172	170	761
	5	106	102	55	108	371
DP2.豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。	1	5	4	2	4	15
	2	46	27	16	20	109
	3	196	170	112	114	592
	4	239	176	179	174	768
	5	113	104	60	114	391
DP3.医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。	1	7	4	2	4	17
	2	44	35	23	25	127
	3	215	174	113	117	619
	4	231	170	172	176	749
	5	102	98	59	104	363
DP4.4年間にわたる体系的な学習を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。	1	24	9	5	6	44
	2	59	36	19	26	140
	3	218	174	132	117	641
	4	201	170	162	176	709
	5	97	92	51	101	341

※レベル1が最もネガティブで、レベル5が最もポジティブな自己評価を示している。

資料1

令和5年度 学修成果及び学修行動、環境に関する調査_結果

2023.9.4

実施期間：2023年7月27日（木）～8月20日（日）

対象者数：3,906人

回答者数：1,875人（1年次599人、2年次481人、3年次369人、4年次426人）

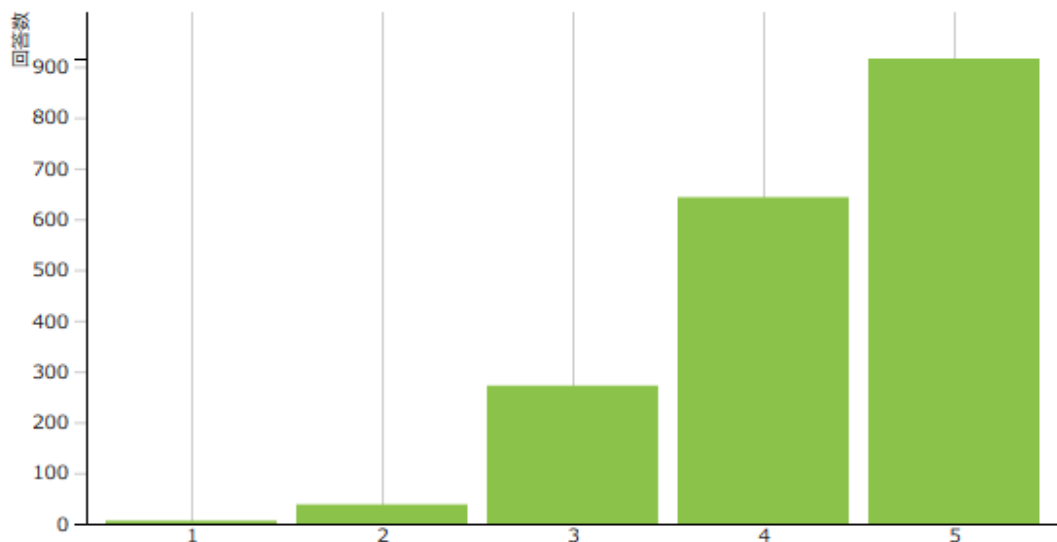
回答率：48.0%（1年次67.2%、2年次52.1%、3年次37.5%、4年次38.5%）

質問1. 川崎医療福祉大学では以下の学生を入学者として求めていると同時に、大学が養成しようとしている人材の基本姿勢として定めています（アドミッションポリシー）。あなたの現時点での学びへの姿勢について5段階で自己評価してください。

① 医療や福祉の分野で活躍するために、その知識と技術を修得する意欲のある人

高 意欲がある

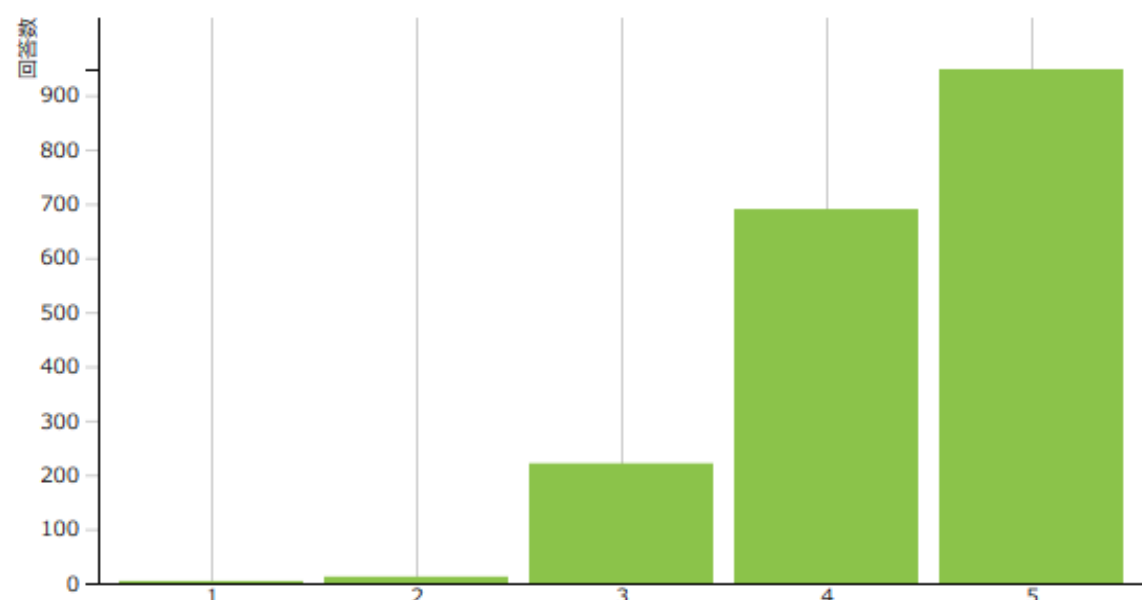
低 意欲がない



② 病気や障がいのある人の気持ちを理解するとともに、その苦悩に共感できる人

高 共感できる

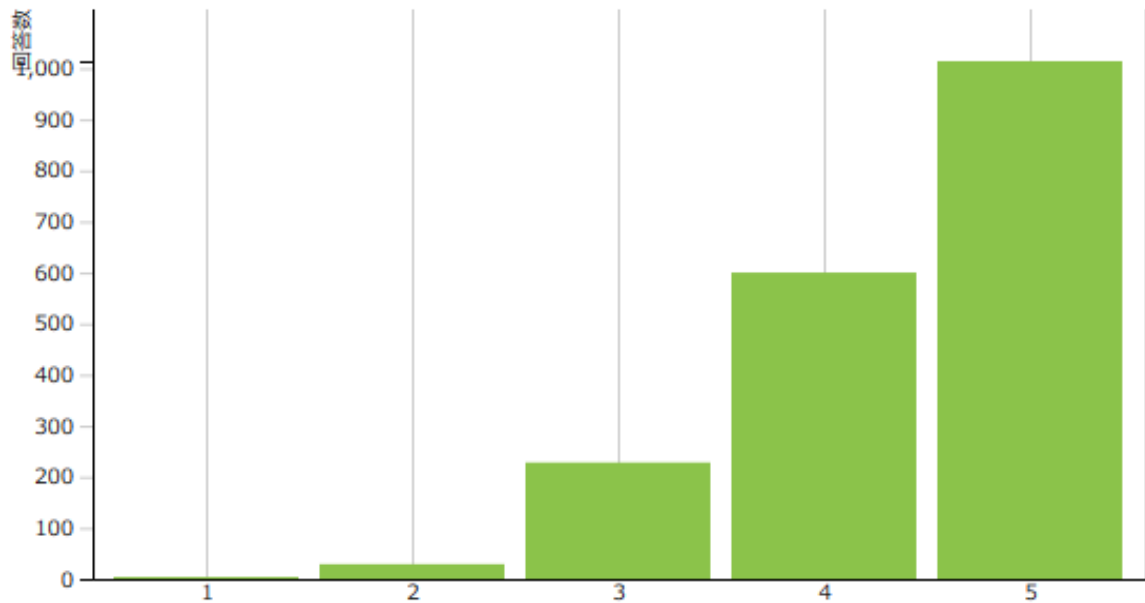
低 共感できない



③ 社会人としての良識や倫理観を身につけ、社会に貢献したいと願っている人

高 貢献したいと思う

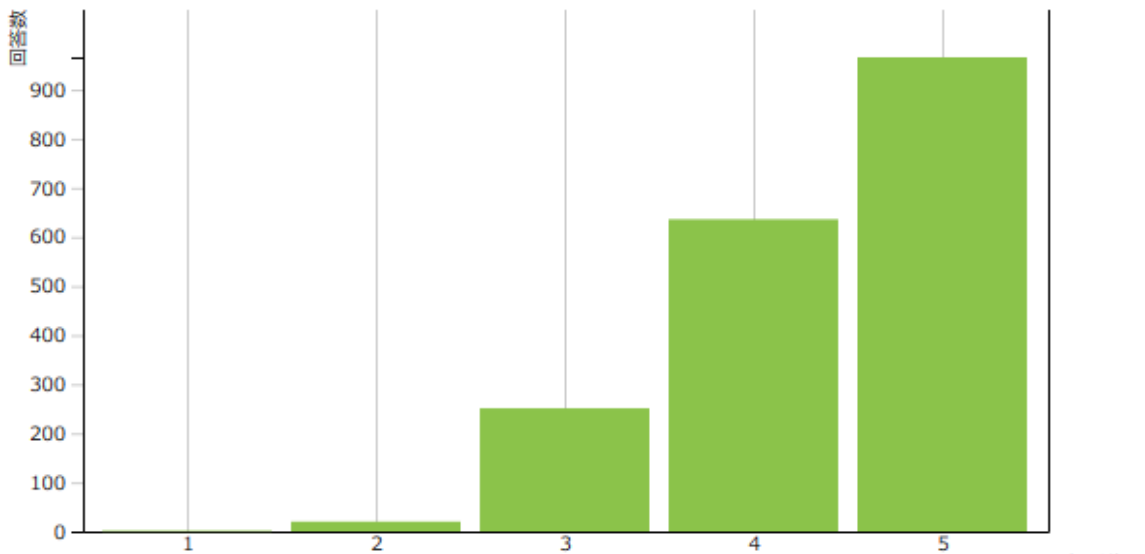
低 貢献したいと思えない



④ 他者の言葉に耳を傾け、適切に説明できるというコミュニケーション能力を持つために努力する人

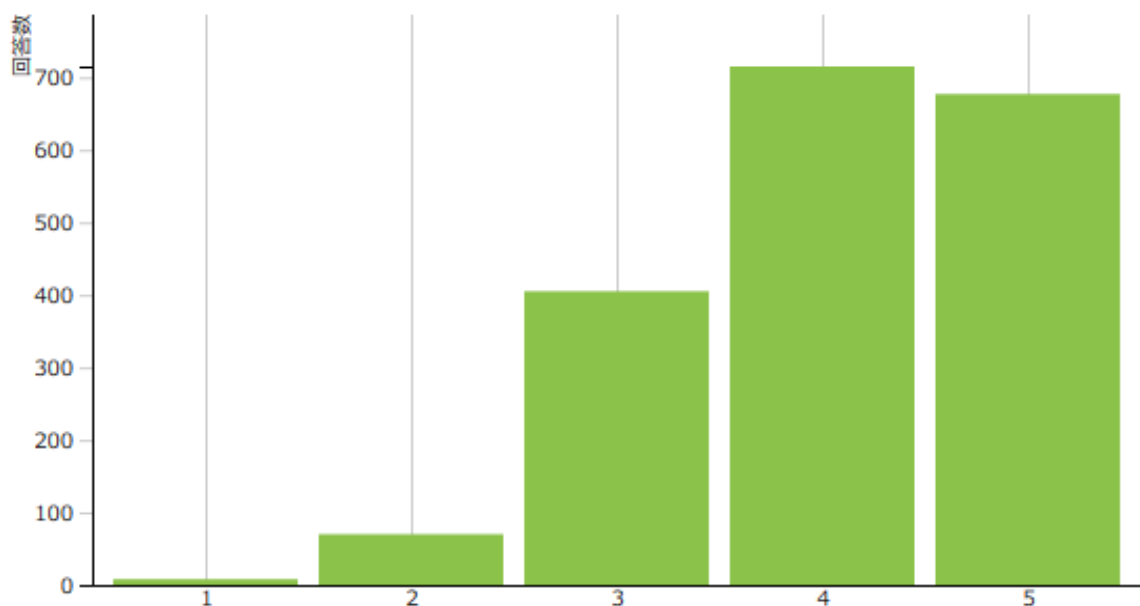
高 努力している

低 努力していない



⑤ 他の医療福祉人と連携して働くために、チームワークの能力を備えている人

- 高 能力を備えている
- 低 能力を備えていない



質問2. 自分の所属学科のカリキュラム（科目や科目の配置、科目の量）に満足していますか。

1. 満足	705	38%
2. やや満足	815	44%
3. どちらでもない	245	14%
4. やや不満	89	5%
5. 不満	21	2%

質問 3. カリキュラムに対して要望はありますか。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 基礎教育科目への S T E A M 科目（科学／技術／工学／芸術／数学）の充実	240	13%
2. I C T ・ A I ・ 数理 ・ データサイエンス科目の充実	107	6%
3. 基礎教育科目への語学教育科目の充実	202	11%
4. 短期留学を含む国際交流科目の充実	177	10%
5. キャリア教育科目の充実	169	10%
6. 能動的学修授業（アクティブラーニング）の充実	114	7%
7. 学外活動（ボランティア等）単位認定	468	25%
8. インターンシップの単位認定、科目設定	154	9%
9. 資格試験対策の充実	726	39%
10. リメディアル教育（不足している基礎学力を補うために行われる教育）の充実	249	14%

質問 4. 授業に対して、どのような態度で取り組んでいますか。あてはまるものすべてを選択してください。

1. 受講の際に、前もってシラバスを確認している	287	16%
2. 興味がわくかどうかにかかわらず、集中して受講している	422	23%
3. グループワークやディスカッションなど自分の意見を述べる機会がある場合は、積極的に発言している	141	8%
4. 出された課題やレポートを、良いものに仕上げようと努力している	479	26%
5. 予習をしたうえで毎回の授業に臨んでいる	17	1%
6. 授業が終わったらそのつど復習している	95	6%
7. 授業でわからなかったことは、自分で調べてみる	217	12%
8. 授業で興味をもったことについて、自主的に勉強する	93	5%
9. 授業に関係する事柄を、授業時間外でも教員に質問する	40	3%
10. 上記にあてはまるものはない	84	5%

※昨年度は複数選択であったが、今年度は単一選択となっていたため、昨年度と傾向が異なっている。

質問5. 授業の受講時間※は、1週間（7日間）でどれくらいですか。

※単位化された全ての授業。講義、演習、実験、卒業研究、実習、学外実習等の正課授業。

1. 31時間以上（月1時 限～金3時限まで殆どの全 てのコマで授業が有る）	210	12%
2. 21～30時間（1日当 たり概ね3～4コマの授業 が有る）	717	39%
3. 16～20時間（1日当 たり概ね2～3コマの授業 が有る）	470	26%
4. 11～15時間（1日当 たり概ね1～2コマの授業 が有る）	157	9%
5. 6～10時間（1日当た り概ね1コマの授業が有る）	68	4%
6. 1～5時間（1週間の うち授業が無い日が3日以 上有る）	143	8%
7. 1.5時間未満（1週 間のうち殆どの日が授業が 無い）	110	6%

質問6. 授業時間以外でのふだんの自己学修時間は、1週間（7日間）でどれくらいですか。
（定期試験用の自己学修ではなく、ふだんの自己学修についてお答えください。）

1. 31時間以上（毎日概 ね4.4時間以上を自己学修 に充てている）	68	4%
2. 21～30時間（毎日概 ね3～4.3時間未満を自己 学修に充てている）	82	5%
3. 16～20時間（毎日概 ね2.3～2.9時間未満を自 己学修に充てている）	171	10%
4. 11～15時間（毎日概 ね1.6～2.2時間未満を自 己学修に充てている）	317	17%
5. 6～10時間（毎日概 ね50分～1.5時間未満を自 己学修に充てている）	502	27%
6. 1～5時間（毎日概ね 10分～45分未満を自己学 修に充てている）	634	34%
7. 0時間（全くしない）	101	6%

質問 7. 睡眠時間以外で自分がアルバイト・部活・趣味・休養等に自由に使うことができる時間は、1週間（7日間）でどれくらいですか。

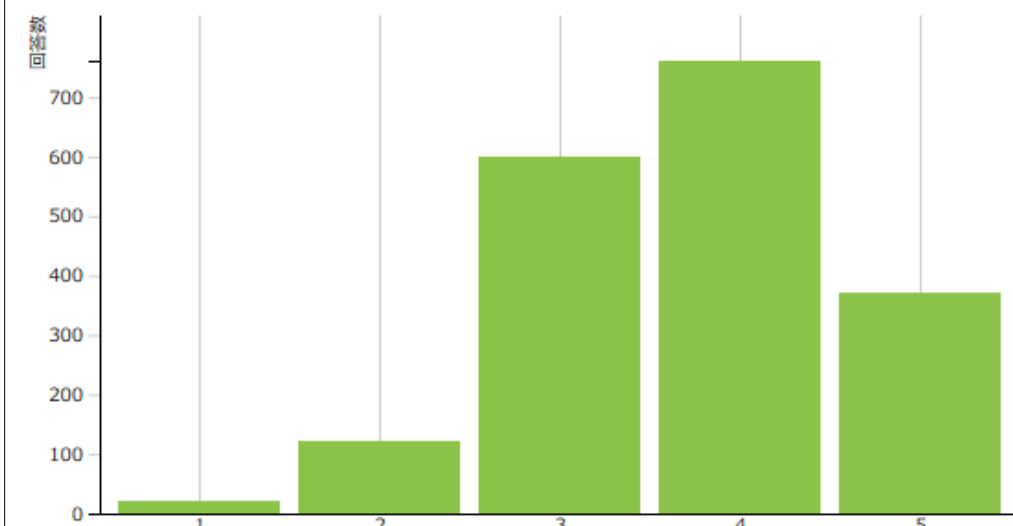
1. 31時間以上（毎日概ね4.4時間以上を自由に使うことができる）	466	25%
2. 21～30時間（毎日概ね3～4.3時間未満を自由に使うことができる）	440	24%
3. 16～20時間（毎日概ね2.3～2.9時間未満を自由に使うことができる）	356	19%
4. 11～15時間（毎日概ね1.6～2.2時間未満を自由に使うことができる）	281	15%
5. 6～10時間（毎日概ね50分～1.5時間未満を自由に使うことができる）	189	11%
6. 1～5時間（毎日概ね10分～45分未満を自由に使うことができる）	133	8%
7. 0時間（全く自由な時間が無い）	10	1%

質問 8. 大学が養成しようとする人材像（ディプロマポリシー）は以下のとおりですが、現時点での自身の達成状況について5段階で自己評価してください。

① 幅広い教養、豊かな感性、人間理解、並びに国際的コミュニケーション能力を身につけるとともに、一人の人間として、他者と関わるための豊かな心を持ち、福祉社会の担い手と成り得るための体力を身につける。

高 達成できている

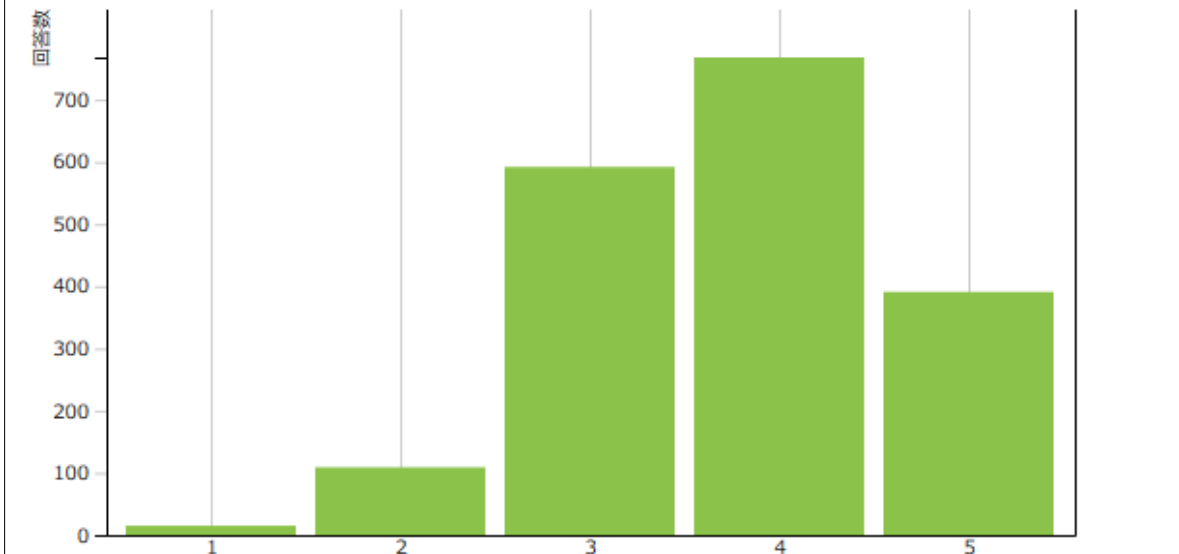
低 達成できていない



② 豊かな人格形成の基本と専門領域へつながる基礎的な学力を養うとともに、専門領域を超えて問題を探求する姿勢を身につける。

高 達成できている

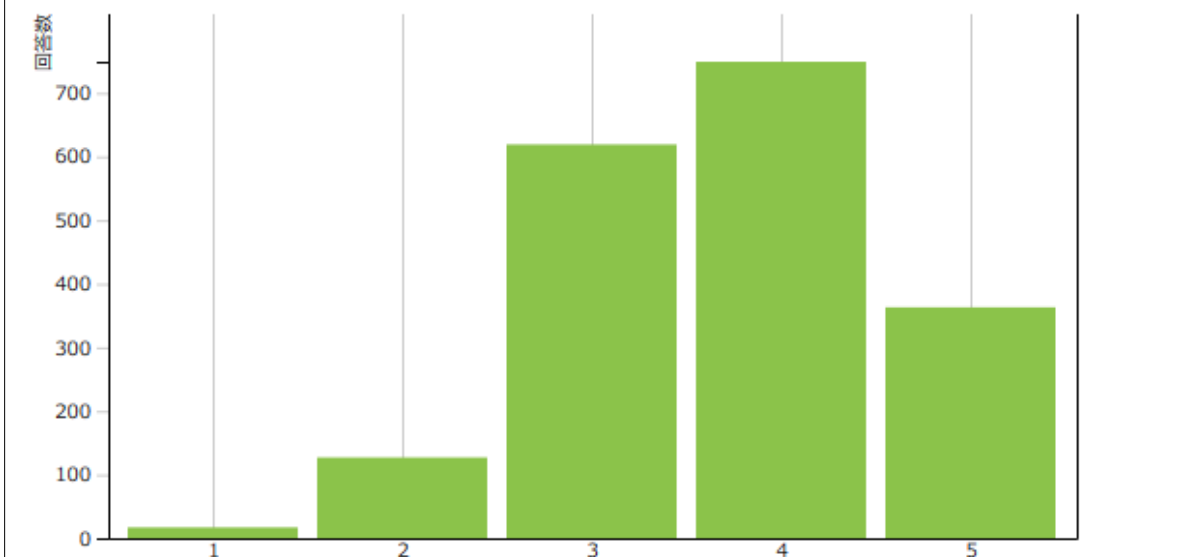
低 達成できていない



③ 医療福祉という総合的な視点を持ち、学際的に議論する力の修得を通して、物事の本質を見抜き、医療と福祉の両分野における多様な課題を解決し得る判断力を養う。

高 達成できている

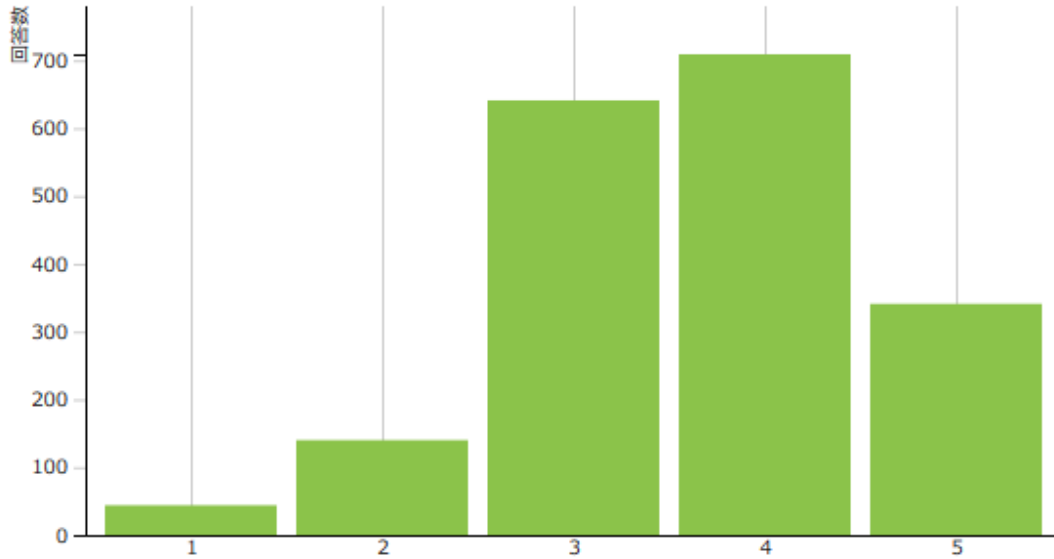
低 達成できていない



④ 4年間にわたる体系的な学修を通して、専門的な医療福祉人に必要な高いレベルの専門的学力や技術力、さらには、スペシャリストとしての指導力を身につける。

高 達成できている

低 達成できていない



質問9. 授業時間以外での自己学修は、どこでしますか。該当する場所すべてを選択してください。

1. 自宅	1638	88%
2. 大学図書館	771	42%
3. 各階ラウンジ	729	39%
4. 5 F L S C (ラーニングサポートセンター)	194	11%
5. 8 F 資格対策演習室 (8101~8104)	49	3%
6. 学科教員が準備した自習用の講義室・実習室	168	9%
7. その他 (友人宅・公共施設など)	282	16%
8. 授業時間以外の勉強はしていない	22	2%

質問 10. 大学の学修環境もしくは学生生活環境整備への要望はありますか。あてはまるものすべてを選択してください。(2022年度環境整備実績：8F資格対策演習室の新設、2F・4Fラウンジへの充電スペースの設置)

1. 静かに学修できるスペースの更なる拡充	944	51%
2. 現在よりも遅い時間まで自習で使用する事ができるスペースの整備	552	30%
3. グループワークを可能とする設備（プロジェクター、ホワイトボード、移動可能机等）を備えた自習スペースの設置	150	8%
4. 学生ラウンジ等のリラックススペースの拡充	522	28%
5. コーヒーショップ等のカフェスペースの設置	668	36%
6. 電子機器の充電スペースの更なる拡充	493	27%
7. パソコンやプリンターなどが自由に利用できるスペースの拡充	582	32%
8. 学生による展示スペースの設置	15	1%
9. Wi-Fi環境の充実（接続の簡易化、高速化等）	849	46%
10. 食事スペースの拡充（食堂の増席、店舗の新設）	398	22%
11. 店舗の平日営業時間の延長	264	15%
12. クラブ・サークル活動のための環境整備	98	6%
13. その他	63	4%

実施期間：2023年7月27日（木）～8月20日（日） ※未回答者への督促計2回

学科	年次	対象者	回答者	回答率	学科	年次	対象者	回答者	回答率
福) 福祉) 医療福祉学科	1年次	40	18	45.0%	福) 技術) 診療放射線技術学科	1年次	81	69	85.2%
	2年次	54	9	16.7%		2年次	73	56	76.7%
	3年次	81	13	16.0%		3年次	63	43	68.3%
	4年次	85	27	31.8%		4年次	70	26	37.1%
		260	67	25.8%			287	194	67.6%
福) 福祉) 臨床心理学科	1年次	54	20	37.0%	福) 技術) 臨床工学科	1年次	56	39	69.6%
	2年次	65	23	35.4%		2年次	69	39	56.5%
	3年次	84	25	29.8%		3年次	72	34	47.2%
	4年次	103	37	35.9%		4年次	79	28	35.4%
		306	105	34.3%			276	140	50.7%
福) 福祉) 子ども医療福祉学科	1年次	37	14	37.8%	福) 技術) 臨床栄養学科	1年次	33	19	57.6%
	2年次	45	41	91.1%		2年次	34	15	44.1%
	3年次	67	33	49.3%		3年次	38	11	28.9%
	4年次	83	32	38.6%		4年次	55	32	58.2%
		232	120	51.7%			160	77	48.1%
福) 看護) 保健看護学科	1年次	137	116	84.7%	福) 技術) 健康体育学科	1年次	76	29	38.2%
	2年次	122	54	44.3%		2年次	87	34	39.1%
	3年次	127	41	32.3%		3年次	58	21	36.2%
	4年次	128	26	20.3%		4年次	71	22	31.0%
		514	237	46.1%			292	106	36.3%
福) リハ) 理学療法学科	1年次	67	46	68.7%	福) マネ) 医療福祉経営学科	1年次	16	4	25.0%
	2年次	81	64	79.0%		2年次	11	4	36.4%
	3年次	65	16	24.6%		3年次	30	7	23.3%
	4年次	66	26	39.4%		4年次	29	14	48.3%
		279	152	54.5%			86	29	33.7%
福) リハ) 作業療法学科	1年次	69	61	88.4%	福) マネ) 医療情報学科	1年次	20	14	70.0%
	2年次	74	32	43.2%		2年次	25	10	40.0%
	3年次	57	15	26.3%		3年次	32	12	37.5%
	4年次	61	17	27.9%		4年次	32	14	43.8%
		261	125	47.9%			109	50	45.9%
福) リハ) 言語聴覚療法学科	1年次	60	52	86.7%	福) マネ) 医療秘書学科	1年次	24	11	45.8%
	2年次	54	40	74.1%		2年次	18	8	44.4%
	3年次	52	32	61.5%		3年次	34	12	35.3%
	4年次	72	52	72.2%		4年次	34	18	52.9%
		238	176	73.9%			110	49	44.5%
福) リハ) 視能療法学科	1年次	33	24	72.7%	福) マネ) 医療福祉デザイン学科	1年次	17	6	35.3%
	2年次	30	17	56.7%		2年次	12	2	16.7%
	3年次	45	26	57.8%		3年次	14	11	78.6%
	4年次	47	31	66.0%		4年次	22	7	31.8%
		155	98	63.2%			65	26	40.0%
福) 技術) 臨床検査学科	1年次	72	57	79.2%	合 計	1年次	892	599	67.2%
	2年次	70	33	47.1%		2年次	924	481	52.1%
	3年次	65	17	26.2%		3年次	984	369	37.5%
	4年次	69	17	24.6%		4年次	1,106	426	38.5%
		276	124	44.9%			3,906	1,875	48.0%